



おおさか

会長挨拶

活力を取り戻しましょう



道具は手入れを欠かさず使う事によって長い間役に立てる事が出来ますが、逆に使わなければ動きが悪くなって使えなくなります。人も同じで“使わないと精神や身体能力が衰える”ことを医学用語で廃用性萎縮と言い、自粛ばかりで刺激や感動することが少なくなると活力が失われていくそうです。集団や社会でも活動や交流が停滞すると活力が失われていきます。FFの活動もコロナ禍では否応なく渡航や受入れを始め、諸活動も制約を受けて望ましい状態からはかけ離れていました。しかし、コロナの規制も段々緩和されつつあり、今年のゴールデンウィーク明けには疾病カテゴリーも見直されることになりました。スポーツ、イベント、旅行、諸活動も元に戻りつつあります。大阪クラブも受入れ、渡航を再開します。又、今年で設立40周年という節目に当たり、昨年からの記念行事の準備をしていますが、実施に移す年を迎えました。コロナ感染から目を離す訳にはいかないかも知れませんが、心も体も伸ばして、友情を深める活動を皆さんとともに進めたいと考えています。それらの活動を通じて刺激や感動を受けて活力を取り戻しましょう。

佐藤 啓一

2023年度総会報告



これまでコロナの蔓延でZOOM総会や文書総会を余儀なくされてきたが、今年は3年振りに一堂に集まったの総会が1月15日、大阪市立総合生涯学習センターで実現した。

総会には22名（オブザーバー2名を含む）が出席、和多田美津子さんの司会で開会、議長に山田多津美さんを選び審議に入った。まず前年度の活動報告、会計報告、監査報告の審議、承認の後、12名の委員の継続就任が承認された。（旧委員2名は退任）

続いて、2023年度活動計画や予算案などが審議・決定された。主な活動計画は4月のカナダ・ノースペイの受け入れ、9月のベルギー・ベルgianコーストへの渡航及び設立40周年記念事業など。

総会終了後、元秘境ツアー専門会社専属コンダクターの瀬川扶佐子氏による講演会が開催された。

瀬川氏は、長年の秘境ツアーで体験した様々な出来事を織り交ぜながら、エチオピアやスーダン、ベトナム、モロッコなどの少数民族との交流の様子や彼らの文化について、持参した民族衣装やリッププレート（舌につける装飾）を示して話された。我々にとって興味の尽きぬ話ばかりで時間が経つのを忘れるほどだった。宗教、文化、習慣の垣根を乗り越えて違う民族同士が触れ合うのは、FFの真髄であり、「普段無口で不愛想な少数民族でも、構えることなく自然体で入っていけば、いつの間にか心が通じ合う」という瀬川氏の言葉は、とても印象的だった。

金山 忠夫



講演会

瀬川扶佐子さん

2023年度委員会メンバー紹介



和多田 美津子(委員) 山田 多津美(委員) 西田 直美(委員) 南山 市子(委員) 菅原 誠子(会計)
今井 綾(副会長) 金山忠夫(事務局) 佐藤啓一(会長) 池田政綱(顧問)



長谷部 純子
(委員・会計監査兼務)



岩田 幸子(委員)



大月 弘義(委員)

退任委員挨拶



F F Oで委員として活動を始め、8年が過ぎました。
一会員としてまた委員として活動する中で、国内外の方々との多くの新しい出会いがあったことは私の人生の宝となりました。大阪クラブを離れますが、森本吉彦さん、松香正俊さん、福原宏章さんとの別れも忘れることなく、すばらしい思い出を大事にしていきたいと思います。ありがとうございました。
細井 八千代



ここ3年世界中がコロナに振り回され、FF本来の活動に支障が生じ、各クラブは国内交流、リモート等繋がりを大切にする意識を強め、F F Oでも案を出し合う中、私は自己都合でこの大事な時を共有出来ませず、自責もあり退任を受理して頂きました。今は徐々にコロナ規制緩和になり、以前の様に海外交流の再開楽しみな事です。
吉良 末子



私がF Fに参加させていただいて、もう20年近くなります。ホームステイがどのような事が良く分からず一緒にしたように思います。英語もカタコト、後は身振り手振りでした。でも、楽しかったですね。今はコロナ禍で、新しく加入された方達にステイの機会が無く残念です。早く自由に行けるようになれば良いですね。
山本 万亀子(監査委員退任)

2023年の取り組み要点

この3年間は行事だけでなく総会、定例委員会、同好会なども対面ではなくオンライン主体で行わざるを得ませんでした。オンラインは移動時間や費用の面でメリットもありますが、物足りなさも感じます。去年は様子を見ながら対面活動を増やして来ましたが、今年は更に機会を増やしたいと思います。今年の活動計画は総会資料で紹介の通りですが、幾つか主な活動計画を紹介します。

4月、カナダ・ノースベイククラブ受入れ

2020年から3年間中止を余儀なくされ、受入れの機会を提供できずに残念な思いをしていますが、今年是实现することになりました。何度もホストを経験された会員だけでなく、この3年間に新たに入会された会員の中にもホストとして手を上げて頂いており喜ばしい限りです。

6月、大阪クラブ設立40周年記念行事

昨年、委員だけでなく一般会員の方々にも参画して貰って、記念誌発行企画 WT(ワーキングチーム)、記念パーティー企画 WT を組んで準備を進めています。これ迄活動を続けて繋いで頂いた先輩諸氏、現在支えて頂いている皆さんに感謝し、共に祝いたいと思います。

9月、ベルギー・ベルジアンコーストクラブ渡航

渡航も3年間中止を余儀なくされましたが、双方のクラブの思いは萎縮していません。先方の情報に基づき、ベストシーズンの9月に渡航を予定しています。ヨーロッパ渡航は、2014年イギリス・ワイト島以来です。

ノースベイクラブ受入れ

4月1～7日、6泊7日の予定で14名のアンバサダーと交流します。そのあとの交流は奈良クラブにバトンタッチします。

共同で受入れを行うクラブも変更があったり、アンバサダーの構成もこれまでになく紆余曲折があったりして、エキサイティングな幕開けとなりましたが、最終的にノースベイ4名、マニトバ3名、トロント5名、オタワ2名で4クラブ14名の混成となりました。参考のために位置関係を示



した地図を添付します。殆どのアンバサダーは趣味に何らかのスポーツを記載されており、身体的な心配はなさそうです。皆さん日本の文化に関心を持っておられ、交流を楽しみにしています。全員で期待に応えたいと思います。

因みに、国名のカナダは、最初の入植者であるフランス人が先住民に“ここはどこ？”と地名を聞いたところ、“カナタ(村の意)”と答えた為、“地名がカナタ”と誤解し、いつしか訛って“カナダ”となったそうです。アメリカもそうですが、カナダも地名や通りに先住民族の名前がよく使われています。

HC 佐藤 啓一、SHC 西田 直美

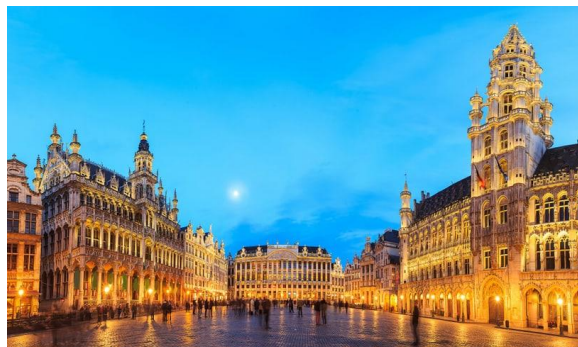
ベルgianコースト渡航

2020年に予定していたベルgianコーストclubへの渡航が中止され、やっと3年ぶりに実現することになりました。

9月初めに渡航、1週間のホームステイの後3泊4日のオプションツアーを計画しています。

このクラブはブリュッセルから列車で1時間の所に位置する海岸地域にあります。オランダとフランスに挟まれ北海に面した70kmに及ぶ砂浜の続くリゾート地です。

近くには世界遺産『水の都』ブルージュがあり、石畳の街並みは中世にタイムスリップしたかのようです。ブリュッセルには『世界一美しい広場』グランプラスがあり、付近にはチョコレートやワッフルの



お店がたくさんあります。彼らはオランダ語を話しますが、お互いにとって外国語である英語と笑顔でコミュニケーションをとりホームステイを通してベルギーの生活を体感し交流を楽しみたいと思います。言葉の壁は、好奇心と異なるものへの敬意があれば乗り越えられる、これこそ『フレンドシップフォース』友情の力だと思います。

今年に入ってHCのJulienneさんとのメールのやりとりが始まりました。会員の皆様には3月中にアンバサダーを募集しますのでよろしくお願いします

AC 今井 綾



新 入 会 員 紹 介



古屋 志保子

文化財に恵まれている京都に住んで国際交流にあこがれてきました。

金山さんより FF 大阪の楽しいお話をお聞きするたびにわくわくしていましたところステイホストのお話を頂き嬉しくお受けしました。皆様の熱い体験談に驚き温かいお声かけに励まされて入会させていただきました。着物や弓道、海外のお話も楽しみです。宜しくお願いします。



畑 邦子

職業:元総合商社で、事務処理を主に仕事としておりました。

FF との関わり: F F を知った後、すぐに FF 大阪に所属して、数年経過後、FF 奈良に、奈良県は、私の故郷なので懐かしく、奈良で 10 年経過後、コロナ下で交通便がより良くコロナのリスク回避には、自宅近くが良いのではと考えに至り、大阪へ戻ることになり今に至っております。他に英語で観光ボランティア活動をしておりませんが、海外からのガイド依頼者は、ポチポチ依頼きていますが、コロナに気をつけながら、最近はガイドを楽しんでおります。

F F 大阪の皆様、宜しくお願い致します。

2022 忘 年 会

2022 年 12 月 11 日、ハートンホテル西梅田レストランガーデンにて 3 年ぶりの全体での忘年会を開催しました。コロナもまだまだ収束が見えない状況でしたが、21 名の方々にお集まりいただき、おしゃべりやゲームなどで楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

洋食中心のメニューでの会食の合間に、ウォーミングアップの体を動かすゲームやチームでの予想ゲーム、ビンゴゲームを楽しみました。また、巽さんが尺八の演奏を披露してくださいました。最後は皆で英語の歌を歌って締めくくりました。



この 3 年、受け入れ渡航はもちろん沢山の人数が一堂に集まる行事を催すことを自粛してきましたが、2022 年はクラブ内交流や国内交流などの試みや今回の忘年会で少しずつ会員同士の交流が戻ってきました。今年は F F もようやく本来の活動を再開できそうで嬉しく思います。 幹事代表 西田 直美



編集後記

コロナの第 8 波もピークを越え、また行動制限も少なくなってきました。

今年は、カナダからの受け入れ、ベルギーへの渡航、クラブ設立 40 周年記念と大きな行事が控えています。これらの行事で皆さんの笑顔の写真をたくさん撮って、ニュースレターに載せていただければと思います。

編集・発行 フレンドシップフォース大阪クラブ

発行日 2023 年 2 月

事務局 〒573-0032 枚方市岡東町 1-10 金山 忠夫
kanayama573@gaia.eonet.ne.jp

ホームページ担当 飛岡 文夫

<http://ffosaka.pro.tok2.com/>

編集人 佐藤、金山、山田、西田、大月